

松本大学と地域をつなぐ情報誌

ゆめ通信

Vol.14
2009.12.15 (Tue)

プロジェクト紹介と販売、体験コーナーでにぎわう！

梓乃森祭「ゆめひろば」

活動レポート

Sign・山形小学校特別支援学級サポート
チーム青い空・塚尻「和みの道」

開設！！

松本大学「ゆめひろば」

インフォメーション

クリスマス特集

学生がイベントを企画しました！

“ゆめ”の由来…結芽^{ゆめ}『ニーズの芽を結ぶ場所』+夢^{ゆめ}+遊眼^{ゆめ}『遊び心の視点を持つ眼』

地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。

クリスマス



学生がイベントを企画しました！

特集

今年もクリスマスの季節がやってきました。

県内の多くの地域では様々なイベントが計画されています。松本大学の学生も、地域の方と一緒に楽しいイベントを考えています。そこで今回は、ゆめ通信編集委員がイベント準備に関わっている学生取材しました！活動紹介とともに、クリスマスイベントの中身を見ていきましょう！

(市村一裕)



ゆめひろばクリスマス会

今年の11月1日に、松本市のカタクラモールに「松本大学ゆめひろば」を出店しました。松本大学のPRや、開発したブランド商品の展示販売を中心に、誰でも立ち寄れる場所として開設しました。月1回のイベントも計画しています。12月にはクリスマスイベントを開催します！今回のイベントの目玉は、ゆめひろば周辺を彩るキャンドルナイト！ろうそくの入った筒を広場に展示し、街行く人々に静かな一夜を過ごしてもらおうと考えています。また、紙袋にメッセージを書いてもらい、ろうそくの灯でメッセージが明るく浮き出すという企画も計画！自分が書いた思いを、キャンドルで灯してみてもいいかもしれません。全部で150個のキャンドルが夜の街を飾る予定です！ご期待ください。他にも、ギターの弾き語りや、絵本の読み聞かせなど、静かな夜を過ごすのにオススメなイベントを計画しています。



↑当日はこんなキャンドルがゆめひろば周辺を彩ります！いろいろな色がありますよ！

企画段階では、考房『ゆめ』のスタッフがカタクラモール周辺を練り歩き、キャンドルを上手に魅せる配置を一生懸命考えていました。実際に現場を目で見ないと分からないことってあるんだなあと感じました。また、地域の方も協力しており、互いに意見を出し合って計画していました。多くの視点から考えることでいろいろな可能性が発見できるんですね。



当日は地元の湧き水でつくったホットココアを無料で配っています。メッセージ用の紙袋も用意しておりますので、友人やご家族みんなで是非メッセージを書いてみてくださいね。松本大学生と一緒に静かな一夜を過ごしましょう！

ゆめひろば クリスマス会

日時：12月18日(金)17時15分ライトアップ
場所：松本大学ゆめひろば(カタクラモール)



ろう学校の生徒との交流

考房『ゆめ』のプロジェクトのひとつ「Sign」では、定期的に長野県松本ろう学校(聴覚障害の方が学ぶ学校)の生徒さんと交流したり、手話を学んだりして活動しています。交流しているのは、専攻科生活環境コースで学んでいる生徒です。(専攻科は高等学校卒業後の2年間の過程です)授業で、地元のいろんな食材を利用した料理を研究、開発をしているそうで、先日行われた交流会では、トマトや黒ゴマを使ったシフォンケーキを作ってくれました。



🎄 こども広場

松本大学子どもあそび隊では、今年から松本駅西口にある考房『ゆめ』の分室「ワークステーション」で、こども広場を開きました。月に一度開催し、わらべうた遊びやふれあいイベント企画を通じて親子の憩いの場を作っています。

12月はクリスマスイベントとして、「簡単おもちゃ作り♪」をカタクラモールで開催します！学生が企画した「パクパクひよこ」や「でんでんたぬき」、そして「松ぼっくりクリスマスツリー」など、ユニークでかわいいおもちゃを作ることができます！もちろん作ったおもちゃはクリスマスプレゼントとしてお持ち帰りOK！親子で一緒に作ってみてはいかがでしょうか？

企画段階では、宙返りアニマルやボヨンボールなど気になるおもちゃも紹介されていました。当日、学生が選んだおもしろおもちゃがどんな形で登場するのでしょうか？完成を思い浮かべながら作るのも楽しみの一つですね。また、子どもやお母さん達から好評だった「手遊びうた」もあります。お楽しみに♪

さらに、当日は「おさがり無料交換会」も開催します。自宅で不要になった衣類やおもちゃなどを持ち寄り、無料で交換しましょう！

当日は各自マスクの着用をお願いします。親子はもちろん、小学生の子ども達も友達を連れてぜひ参加してみてくださいね！



↑どんなおもちゃを作るか考えていました。当日が楽しみです♪

こども広場 簡単おもちゃ作り♪
日時: 12月19日(土)10時から11時30分まで
場所: カタクラモール2F ちびっこひろば

🎄 福祉ひろば ふれあい健康教室

松本市福祉ひろばでは、定期的に様々な地区で「ふれあい健康教室」を開催しています。12月10日には新村福祉ひろばで、松本大学生が企画した「ミニ運動会」を始め、多くの方がふれあえるイベントが開催されました。

今年のミニ運動会では、子ども達と高齢者が一緒に楽しめるゲームとして、皆で協力して遊ぶ「玉入れ」や、じゃんけんを織り交ぜた愉快的な手遊びが催されました！なんと参加者全員に、学生手作りのオリジナルメダルとクリスマスカードがプレゼントされました！



企画段階では、子どもと高齢者の2つの目線で手あそびを考えていたのが印象的でした。多くの方が参加するイベントでは、それぞれの目線を考えることも大切なんだなあと感じました。また、当日は松大戦隊「ゆめレンジャー」として学生が変装してイベントをより盛り上げたようです！学生のチームワークがあつてこそ出来る催しですね。

学生の皆さん、当日はお疲れ様でした！！

イベント盛りだくさんのふれあい健康教室、来年も楽しみです♪

トマトの良い香りとシフォンの甘さが絶妙に合っていて非常に美味しかったですよ。Signの学生も「トマトやゴマもケーキに使えるんだあ」と驚いていました。

そして彼らが、なんと12月18日のゆめひろばのクリスマス会に特製ケーキを作ってくれるそうです！今はまだ企画段階ですが、右のようなツリー型のケーキを作ってくれるようです。すごく楽しみです！



黒ゴマのシフォンケーキ美味しかったー♪

活動報告

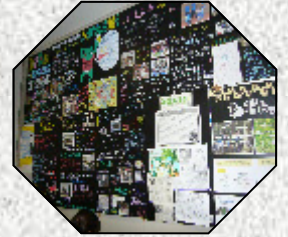
梓乃森祭

ゆめひろば

10月10日(土)、11日(日)に行われた松本大学の梓乃森祭で5号館ロビーにて、地域づくり考房『ゆめ』主催の『ゆめひろば』を開催しました。そこでは、学生とOB・OGや地域の方々による展示・販売・体験コーナーなどの交流ひろばとして行われました。それでは、各コーナーを紹介したいと思います！！

(大石春菜)

《展示コーナー》では、学生が地域と連携して進めている活動紹介のパネル展示や9月5日にワークステーションで開催した「松本駅西口の可能性を考える」で出た提案やアイデア等を展示しました。どの展示も工夫されていて面白いものばかりでした。



《販売コーナー》では、「新村新鮮野菜市」による果物や松本一本ねぎなど、「ベーガリー麦の穂」による手作りパン、「米粉のワッフル・こっふる」のプレート・抹茶・りんご、「考房『ゆめ』」による本、CDの販売がありました。低価格で手作りということもあり好評でした。



《休憩処》では、新村の「さわらびの会」のおばちゃんと地域交流サークルによる、湯茶のサービスがありました。手作りの漬物もあり、とてもおいしかったです。

《体験コーナー》では、

《地域のヘルシーメニュー》では、学生がレシピを考えて作った豆乳みそ汁を限定20食で提供しました。

《企画した健康栄養学科2年 小野 萌さんの感想》

私たちは活動を多くの人に知ってもらうために、梓乃森祭でヘルシーメニューの提供をしました。浅間温泉や松本の食材を調べ、メニューを一から考えるのはとても大変でした。

当日は朝からメニューの準備をし、限定20食の提供を予定していましたが、予想以上に早く終了し、メンバー内からは「もう少し作ればよかった」と喜びの声も上がりました。実際に提供し、アンケートに協力してもらおうと、私たちには気づかなかった事をお客さんからの視点によって気づくことができました。また、励ましの言葉をいただくことでこれから更により良い物を作っていこうという気持ちになりました。

梓乃森祭での提供はまだ第一歩といったところです。今回は試食としての提供でしたが、「商品」としても認めてもらえるまで、メンバーで試行錯誤していきたいと思っています。



《クイリング&アロマセラピー》では、細い紙テープから花などを作るクイリングとアロマ体験を行い、約90人の方が訪れました。

《体験した観光ホスピタリティ学科2年 竹内 希さんの感想》

私がアロマ体験をしたのは、大学祭の最終日に自分が担当していた出し物が終わり、少し疲れが出てきた時にやってみようと思ったのがきっかけでした。

体験では、お湯が入った洗面器に、アロマオイルという植物から精製される香りのついた油を二滴ほど入れ、そこに手だけ入浴させるハンドバスとマッサージをしていただきました。温かいお湯に手を浸からせながら、同時に香りを楽しむ事で体が温まり、気分もリフレッシュされ、マッサージは、優しく丁寧にしてくださり、とてもリラックスできました。

アロマの存在については知ってはいましたが、今回の体験を通して効果の大きさにとても驚かされ、さらに興味がわいたので機会があればアロマについて学びたいとも思いました。



【松風連】では、和太鼓演奏ステージ発表時にふれあい体験コーナーを行いました。

《企画した観光ホスピタリティ学科3年 奥原 芳紀さんの感想》

メインステージにて松風連の和太鼓演奏を行いました。松風連は、和太鼓の演奏を通じた地域交流を目標として活動しています。実際の演奏を見ること、聴くことを通じて観客の皆さんとのコミュニケーションを図っているのですが、それに加えて和太鼓体験を活動の一環として取り組んでいます。

当日は実際に、ステージの上へ子どもを招いて太鼓を叩いてもらいました。そこで日本独特の楽器の和太鼓に親んでももらいつつ、触れて、叩いて、大人も子どもも関係なく純粋に楽しんでもらうことで体験や感動を共有しました。基本的に、自由に叩いていただいているのですが、各々の顔から笑顔がこぼれている姿を見て、打ち手である我々も感動を覚えました。また、直感的に、文化的なコミュニケーションがとれることに、意義を強く感じています。



ここでの体験を、さらに発展させ、難聴児の学習支援活動が始まりました！！現在、パソコン文字通訳講座による事前学習会が行われています。

【聞こえないってどんなこと？】では、1分間にどれだけ入力できるかを競うタイピング挑戦や手話の指文字挑戦、聞く書くドリル、口の動きだけでどのくらいわかるかなどを行いました。

《体験した松商短期大学部1年 赤澤 瞳さんの感想》

私が、「聞こえない体験」に参加したきっかけは、「真史ちゃん」という、耳の聞こえづらい女の子とそのお母さんに、ふとした事で知り合ったことからです。真史ちゃんは、笑顔のとっても可愛い女の子で、私がした挨拶や質問に、一生懸命に答えてくれました。

体験の会場が、私が担当していた場所の目の前という事もあり、気軽に参加したのですが、体験でテレビ画面に映った、口ばくで喋る女性の言葉が全く分からず、本当にびっくりしました。真史ちゃんたちがこんな状況で毎日過ごしているのかと思うと、本当に切ない気持ちになりました。

パソコンの要約筆記は、真史ちゃんの日常生活の中でほんの少しですが、言葉を伝えることが出来ます。皆と同じ理由で笑えるということは、彼女たちにとって当たり前ではありません。

パソコン文字通訳講座は始まったばかりで、ついていくのだけで精一杯ですが、早くひよっこから卒業して、少しでも真史ちゃんたちの将来の為の役に立てるよう、頑張りたいです。



そして・・・パソコン文字通訳講座の後に・・・

【難聴児の耳のかわりになる】は、近隣の小学校に行って、聞こえない、聞こえにくい状態にある難聴のお子さんたちの授業で、『パソコン文字通訳』（＝話された言葉をパソコンで打って文字として見せる）を行う活動です。

以前、パソコン文字通訳を体験した難聴のお子さんからは、「社会の授業がこんなにおもしろいって、初めて知りました」「おともだちが何を言っているのかよくわかりました」「いつも、わからなくて、あとからおともだちに聞いていたけど、今日は聞かなくてわかりました」「毎日、来てほしいです」などといった声があるそうです。

現在は、《わたしたち“耳の代わり”です 養成プロジェクト》によるパソコン文字通訳講座を行っていて、総合経営学部、短期大学部の学生5名が参加しています。講座は、毎回「本日の目標」があり、支援の際の注意事項や技術面の講義など、長野サマライズセンターの皆さんによる指導が行われています。参加者からは「話を聞きながら文章を打っていくのは難しいし、打ち間違いも多く、また、要点だけを要約することが大変です」といった声がありました。しかし、どの参加者も積極的に参加し、日々工夫しながら成長してきているようです。

講座終了後には小学校に行き、実際にボランティアとして活動していきます。さらにフォローアップ研修を受けながら活動を継続していきます。



地域連携活動紹介

★Sign★

私たちSignは、週に1度考房『ゆめ』に集まり、手話の勉強をしています。メンバーのほとんどが手話初心者で、試行錯誤しながら勉強しています。最近では自己紹介やあいさつが手話でできるようになりました。

また、11月から松本ろう学校高等部専攻科の生徒さんと交流会をするようになりました。交流会では、おぼつかない手話や筆談、口話を使いながらおしゃべりしています。ろう学校の授業で制作したオリジナルケーキを食べながら手話を教わって、毎回楽しく交流会をしています。

私たちの手話は、まだ会話ができるほど上達していませんが、手話でコミュニケーションをとれる楽しさを周りの人達に伝えられるように、これからも交流会や手話の勉強に励んでいきたいです。

(観光ホスピタリティ学科2年 北原 保奈美さん)



☆山形小学校☆ 特別支援学級サポート



年に3回、山形小学校の特別支援学級の子も達が、朝日小学校や今井小学校など他校との交流学習会を行います。前は6月にピクニックに行き、今回は、「松本の文化財をたずねよう」ということで、内田の馬場家住宅へ行ってきました。今回の目的は、山形小学校のみんなが他校の子も達と交流することはもちろん、その他に交通機関や、レストラン、文化財施設の利用の仕方を学ぶことや、歴史や文化に触れ、社会性を養うことを目的としました。馬場家住宅では、子ども達と茶道を学んだり、コマやすごろくなど昔の遊びを体験し、1日を無事に過ごすことができました。今回感じたことは、バスを降りる時に上の学年の子が、下の学年の子にお金を用意してあげたり、高齢者に座席を譲ってあげたりと、一人ひとりが正しいと思うことを率先してやっていて素晴らしいと思いました。交流学習会を重ねるたびに頼もしく感じます。3月に今年度最後の行事があるのでまた楽しく子ども達と遊びたいと思います。

(観光ホスピタリティ学科4年 丸山 伸二さん)



私は大学3年生になって初めてボランティア活動を行いました。当初は就職活動を間近に控えていたため何かPRできるものはないかという安易な気持ちでチーム青い空の活動に参加しようと思っていました。

先日、初めてチーム青い空の方々と共に様々な野菜や小物を販売する活動に参加しました。最初はど動いてよいかわからず戸惑いました。しかしチーム青い空の気さくな方々や、活気のある雰囲気にとっても安心感を抱き、積極的にお店の看板を作ったり声かけを行いました。そして、自分もいち早くメンバーの一員として、地域の方や障害を持つ子ども達とたくさんふれあい、活動をしていきたいと思えました。また、その中で自分自身に何ができるか、どういった面で活躍できるのかを考え、今後限られた時間ではありますが少しでも多くの人々のお役に立てる、そんな活動をしていきたいと思っています。

(総合経営学科3年 大海 徹さん)

チーム青い空





♪♪和みの道♪♪



「和みの道プロジェクト」とは、塩尻市の「和みの道」という通りの活性化を目指して、松本大学生と地域の人たちが連携して市民の方々に提案し、一緒に考えていこうというコンセプトで活動しています。

「和みの道」とは、塩尻市のイトーヨーカドーから塩尻市役所を結び、約270mの少し住宅がある静かで和やかな通りのことです。

この活動のPRを目的に、10月31日、塩尻市で行われた「ハッピーハロウィン」というイベントに参加しました。私達は、このイベントの中で、お茶やお菓子を食べながら休憩してもらえる休憩所を設置し、立ち寄っていただいた市民の方々に、パネル等を使いながら活動紹介をし、意見をもらいました。市民の方々に、活動の話をしたり、意見を聞いたりすることはとても大変でした。皆さんからは「活動の名前は知っているが、内容までは知らなかった」といった意見もあり、まだまだしっかり知られていないことを感じました。しかし、200人を超える方に立ち寄っていただき、PRとしては大成功となりました。

今後は、「和みの道」を多くの方に知ってもらうために、地域の方々とお茶会などを企画して交流していこうと考えています。

(総合経営学科3年 野村 勝さん)

塩尻市の大門商店街が校外の大型店進出にともない空洞化してしまいました。大変残念で寂しいことです。塩尻市役所から市民交流センターまでの270mほどの通りが通称「和みの道」です。

このプロジェクトは、そこに少しでも人の流れをつくりたい、せめて地域住民が心を和ませ散歩を楽しめる通りになれば、との思いで立ち上がりました。

当初から学生さんの参加をいただき、住民とのコミュニケーションを大切に活動してきました。今回は市の一大イベント「ハッピーハロウィン」に参加して、学生さんのアイデアでお休み処を設け、茶菓をふるまいアピールしました。

学生さんは、積極的にパレードに参加してPR活動をしたり、「和みの道」の説明をしたりと活躍いただきました。今後も学生さんの若いアイデアと行動力をこのプロジェクトに反映できるよう共にならばと思っています。

(塩尻市 山下 美津子さん)



11月から松本市カタクラモール内に、「松本大学ゆめひろば」がオープンしました。

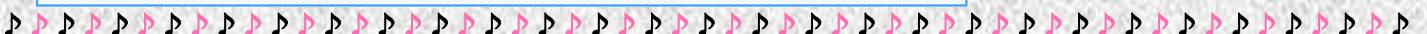
ゆめひろばではパネルや映像を使いながら松本大学の紹介をしており、誰でも気軽に松本大学を知ることができます。また、

『ゆめ』をはじめとする大学の各種地域活動の拠点として動き出しており、12月18日にはクリスマスイベント、12月20日からは松大ブランドの販売を行うなど、今後の予定も盛りだくさんです！

「ゆめひろば」スタッフには、僕たち地域づくり考房『ゆめ』の学生も関わっています。まだ動き始めたばかりで計画が進み切っていない部分もありますが、このゆめひろばを拠点として、さらに活動の幅を広げていければと思っています。みなさんぜひ一度、「松本大学ゆめひろば」を覗きにきてみてくださいね！

(松本大学ゆめひろば・学生スタッフ 平田 竜一さん)

カタクラモール
松本大学
ゆめひろば



Information

活用しよう! コミュニティバス!!

電車で通学している人はコミュニティバスをご存知の人も多いと思います。しかし、このコミュニティバスの便利さを知っていますか？
なんとこのバス、平田駅から大学前バス停まで30分で行けちゃうんです。しかも料金は200円!! 電車を利用するよりも安いんです!

行き	
塩尻方面接続電車	平田駅 8:44
バス停	平田駅 9:00 発
	大学前 9:30 着

時刻
一例

帰り	
バス停	大学前 17:50 発
	平田駅 18:20 着
塩尻方面接続電車	平田駅 18:29

表

(※この他、平田コースは1日20本運行しています。)

塩尻方面へ行く電車の乗り換えの待ち時間も少なく、本当に便利です。運行ルートは新村・平田線の他に、全部で4ルートあります。詳しい運行ルート・時刻表が知りたい方は考房『ゆめ』まで。皆さん、ぜひ活用してくださいね。



Ties

メンバー募集

みんなで“絆”を創っていきませんか？

いじめや不登校で苦しんでいる子供たちを笑顔にしよう!

- ・親御さんにアプローチし、個別に学習支援
 - ・イベントを企画し、遊びながら交流を深める
 - ・学生と子供たちとの交流の場づくり
- という3グループで活動しています。

まだ始まったばかりなので、メンバーの繋がりを大切にしながら、一緒にプロジェクトを作っていきます。

第2・4水曜日
17:30~
松本駅西口
WORK-STATIONにて

日時はメンバーの希望に合わせて変えていきます。

学生相談員が常駐

することになりました。

相談の内容は何でもかまいません。

仲間がほしいなあ・・・

今の学生生活だけじゃもの足りない。

何かをしたいけど・・・

地域活動にちょっと興味があるけど、

どんな活動があるのかな？

私に合った活動はあるかしら・・・

楽しく活動して、仲間と飲み会とかしたい!

現在の『ゆめ』にはない、こんな活動を立ち上げたい!



常駐日時

月火 11:20~13:20
水木金 12:50~14:50

何でも学生スタッフにご相談ください。一緒にあなたに合った「ゆめ」を探しましょう。

★*・☆*・° つぶやき ☆*・° ★*・

11月21日に松本城でベロタクシーの最終運行をしてきました。平成16年より地域のNPO法人と松本大学生が協力して運行をしてきたのですが、残念なことに運行終了が決まってしまいました。最終運行当日は天気にも恵まれ、新聞を見て来てくださった方などおおよそ20人の方にご乗車いただき、良い形で締めくくることができました。松本ベロタクシーはこれで終わってしまいますが、全国で走っているベロタクシーにはがんばってもらいたいものです。皆さん長らくのご愛顧本当にありがとうございました!

(観光ホスピタリティ学科4年 平田 竜一)

お問い合わせ、ご意見、ご質問、ご感想等
ありましたら下記へご連絡下さい。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel: 0263-48-7213(直通)

Fax: 0263-48-7216(直通)

E-mail: community@matsu.ac.jp

URL: http://www.matsumoto-u.ac.jp/matsumoto_u/yume/